令和7年度中国・南昌市への青少年訪問団派遣事業 事後報告書

◆名前：伊藤花奈子

江西省及び南昌市に滞在中の様子や本事業で得たこと、感想等をご記入ください。
(1,000字程度)

私は今回の高松市青少年訪問団派遣事業に参加をして中国南昌市と景德鎮市の歴史について多く学ぶことができました。私は中国を訪れることが今回で初めてで、今まで中国の言語や文化に触れる機会があまりありませんでしたが、今回初めて中国の言語や文化に触れて日本とは違う良さを肌で感じることができました。中国での買い物はほとんどがキャッシュレス決済でITが日本よりも発達していると感じました。また、交通量の多さにも驚きました。そして、今回は集団で行動することで仲間とのコミュニケーション力やお互いに助け合う力が身についたと思います。日本とは違った環境で6日間生活することができてとてもいい経験ができたし、私自身成長することができたと思います。

私は今回景德鎮市の陶磁器が凄く印象に残りました。景德鎮市は日本だけでなく世界的にも有名な陶磁器で、現在でも人気の高い陶磁器の一つだと知りました。国際陶磁器博覧センターでは白磁、青白磁、青花、五彩などで作られた陶磁器がとても美しかったです。実際に自分だけのオリジナル陶器を作ることができましたが、筆で書くのがとても難しく苦戦しました。国際陶磁器博覧会に行ったときに実際に職人さんが陶器にデザインを描いているのを見ましたが丁寧に素早く、難しいデザインでもすらすらと書いているのを見て改めて職人さんの凄さを感じました。また、私は大唐茶市で行われた夢回大唐の劇すごく感動しました。劇中は間近で見ることができてとても迫力を感じました。何より演技をする方々の大きな動きや表情にすごく圧倒しました。言語が異なり物語のストーリーがわからなくても私たちに何を伝えたいのか、どんな部分を見せたいのかが演技をする方々の動きや表情でよく伝わってきました。

今回高松市の派遣団として中国を訪問し、なにより中国の方々がとても親切で楽しく生活することができました。日本とは言語が異なりコミュニケーションをとるには難しい時もあるけど、ジェスチャーで意思疎通をとったりいつもの日常では体験できないことが中国では体験することができとても貴重な経験ができました。現在は以前より世界的にも新型コロナが落ち着き国際交流が盛んになってきていると思います。高松市にも多くの外国人旅行者の方々を多く見かけます。これから高松市と南昌市の友好関係がもっとより良いものになるためにまずは私が今回南昌市訪れて感じたことや良かったことを多くの人に伝えていきたいです。そして中国の方々が高松市を訪れた際は、私が今回中国の方々に助けてもらったように困っている中国の方々に助けられる存在になりたいです。